



## 巻頭記事 6月例会開催

35周年記念地域活性化事業  
ワールドカップから学ぶこと、  
夢をかなえるために!  
ガイナレ鳥取 服部選手・岡野選手講演会  
新入会員オリエンテーション  
行列のできる何でも相談所 内田 隆嗣  
連載記事 **ススメマスイ!**

特集 **業あり西部の躍動人**  
より良いおもてなしを提供します  
(有)喜多川 水 康徳

お電話1本で24時間対応  
(有)サンクリーン 竹ノ内賢一郎

ショーバイ・商売  
中島 太郎OB (海潮園・皆生ホテル 代表取締役)

いよいよトライアスロン間近

中央会をふりかえって… 水 康徳

発行人 / 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 増井 幸一  
編集責任者 / 担当 副会長 河津 慎二 制作・編集 35期広報委員会 / 委員長 小川 敦弘 印刷所 / 東京印刷(株)

## 6月例会開催 ～第35期委員会年間活動報告・第36期年度方針発表・第36期理事抱負～



平成22年6月15日(火)米子コンベンションセンター小ホールにおいて、6月例会が開催された。まず増井会長が「この壇上に上がるのは1年ぶり、委員長の皆さんにはこの1年の集大成を自信を持って発表していただきたい、そして会員の皆さんは委員長の発表を聞きながら次年度の活動につなげていただきたい」と挨拶された。

発表はアンダー 35特別委員会の宮崎リーダーから始まった、宮崎リーダーは「0から造りあげたこの経験を活かして、それぞれの力を自立、集結してこれからの中央会を引っ張っていきたい」と発表された。その後はそれぞれの委員長が1年間の熱い思いを発表された。地域ビジョン委員会、山本委員長「躍動という名にふさわしい委員会だと思う」。政治行政委員会、永田委員長「中央会の団結の良さ、感謝、感激の一年だった」。ビジネス委員会、長田委員長「会員企業が発展できる仕組み造りをしていく。また、6回も最高出席委員会になるような委員会にさせていただき本当



にありがたい」。自然文化発掘委員会、須山委員長「この1年間地元及び近隣地方の歴史、文化にたくさん触れることができた」。広報委員会、小川委員長「恵まれた環境で一年過ごせ、たくさん成長させていただけた」。総務委員会、35周年事業実行委員会、岩田委員長「総務委員会テーマは『旋風』、35周年事業テーマは『躍動』で臨んだ、すべての事業に全会員で臨むことが出来て素晴らしい」と発表された。



そして、第36期会長挨拶では、北口会長が「我々がどんな場面でも『輝』を放ちながら地域、仲間、家族を照らしていかなければならない。英知・友愛・団結の精神で、一丸となって頑張っていきましょう」と挨拶され、その後

36期理事、今川委員長、向井委員長、久保田委員長、桑本委員長、浅中委員長、竹ノ内委員長、横山会計担当理事がそれぞれ緊張されながら、熱い想いの抱負を述べられ、閉会となった。(記事:高井)



# ワールドカップから学ぶこと、夢をかなえるために！

ガイナレ鳥取 服部選手・岡野選手講演会

35周年記念地域活性化事業として政治行政委員会が平成22年6月6日(日)やまつみスポーツクラブにおいて、ガイナレ鳥取の選手と地元ガイナレファンの交流会が行われた。約240人の子供たちと父兄の皆さんにご参加いただいた。



第一部は選手によるテクニク講座を開催。子供たちは選手と一緒にリフティングやシュートを楽しんだ。第二部の冒頭で増井会長から「中央会は若手経済人の集まりです。我々は子供の成長とJリーグへの道もあわせてガイナレを応援し、地域への活性化を進めています。そしてこの地域でJリーグの



試合が見られる日を本当に待ち遠しく思っています。父兄の皆さんには、ご家庭でお子さんへ夢のある話をこれから沢山伝えていって欲しいと思っています。」と挨拶をされた。

本日のメイン企画である世界の舞台で活躍してきた服部選手と岡野選手のトークショーへと移った。二人の選手からは「とにかくサッカーが好きで夢をあきらめないで続けることが大切。」「自分はサッカーは下手だけど自分の長所を伸ばしてきた。だから世界の舞台にも立つことも出来た。」など、これから夢へ向かって羽ばたく子供たちへ心に残る大切な言葉をいただくことが出来た。

子供たちにも父兄の方にとっても貴重な



話や体験が出来た良い機会が作れたと思う。自分たちの住む地域を愛する心、スポーツを通して地域を盛り上げることの大切さ、夢は追い続けければ叶うもの、いろいろなことを実感し心に残る有意義なイベントとなった。(記事:遠藤)



## 業あり 西部の躍動人

より良いおもてなしを提供します

(有)喜多川 水 康徳 (中央会会員)



有限会社喜多川は平成6年4月に設立されました。私の入会が同年7月ですので、私の中央会活動と共に今日まで歩んでまいりました。

弊社は次の3つの部門で構成されています。1つ目は珈琲豆の販売を併

設した珈琲専門店を運営する喫茶・売店部門です。現在、角盤町としんまち専門店街1階の2店舗を営業しており、普段より多くの皆様に打合せや待ち合わせの場としてご利用頂いています。また、皆様に長年ご愛顧頂いてきた高島屋前、「カフェメルカード角盤店」は来年で40周年を迎えます。2つ目は鳥取県西部地区2市2郡をエリアとして、事業所に珈琲豆や関連商材をお届けする外販部門です。一般的なオフィスコーヒーサービスと違い、お客様のご要望をお伺いし、お客様にとって最適な条件を考慮した上で珈琲豆お届けしています。また、法人向けの御中元・御歳暮の宅配も行ってまいります。3つ目は企業や会議・展示会などでコーヒーやジュースなどを提供するドリンクケータリングサービス部門です。弊社は店舗での接客経験があるスタッフが対応し、より高いホスピタリティを演出するお手伝いをさせて頂いています。

創業以来、(有)喜多川はより良いおもてなしを提供することを使命とし、事業を行っております。

お問合せ (有)喜多川 米子市新開3-7-7 ☎35-6168

## お電話1本で24時間対応

(有)サンクリーン 竹ノ内 賢一郎 (中央会会員)



(有)サンクリーンは、総合衛生管理業として本社を米子に置き、鳥取営業所・松江営業所・福山出張所をベースとして、業務展開しております。『総合衛生管理業』と一口に言いますが、清掃部門・産業廃棄物部門・空調機洗浄メンテナンス・クリーンルーム管理・微生物検査等々まで幅広く『業』としております。営業範囲としては、鳥取県西部地区はもちろんですが、関西・中国・四国と広いエリアを展開しております。地元の鳥取県西部地区を地盤として行かなければ！と日々営業活動をしております。

今回、ご紹介させて頂きますのは『パイプの洗浄・調査』『ハチの駆除』です。主に排水管の洗浄・詰まりの除去・調査が内容になりますが、建物の種類や建築時期によってパターンも異なることから、経験豊富なスタッフが親切・丁寧に、ありとあらゆる手段を使って問題解決をさせて頂きます。(困った時には、お電話1本で24時間対応しております。)

又、ハチの駆除においてもこれから秋までがシーズンとなってきます。危険性の高い『スズメバチ・大スズメバチ』まで100%対応しておりますので、御用命ください。

創業33年の経験と新たな発想力で、今後も地域貢献企業を念頭に精進して参ります。



危険性の高いスズメバチの巣

お問合せ (有)サンクリーン 米子市西福原5-4-6 ☎32-5006

# 新入会員オリエンテーション

平成22年6月22日(火)、米子食品会館において、総務委員会による今年度2度目の新入会員オリエンテーションが行われ、6名の新入会員が参加した。



会長挨拶から始まったオリエンテーションでは、岩田委員長による趣旨説明、佐藤会員による団体中央会の各種共済に

ついての説明の後、当会の位置付けと組織、当会とトライアスロン皆生大会の関係、当会の選挙運動に対する方針について、当会の年間スケジュールならびに関



連団体等年間スケジュール、周年事業について、OB会について、広報誌・ホームページについてといった事柄を総務委員



会メンバーならびに渡辺専務理事がその歴史や経緯などを交えながらパワーポイントを使用して説明を行った。そして質疑応答の後、水直前会長が総評をされて約1時間半のオリエンテーションは幕を閉じた。

全体として内容がぎっしりと詰まったオリエンテーションだったので、なかなかその全てを一度に覚えることは難しいと思うが、早く会のことを覚えてもらうにも、積極的に会の活動に参加していき、そのなかで今回のことを思い返してもらうことが大切だと思う。(記事:濱田)

## 新入会員オリエンテーションを終えて

松田 順次

新入会員オリエンテーションに参加させて頂き、やっと自分も中央会会員の仲間入りが出来たと感じました。5月に入会をさせて頂き、例会や委員会に出席していたのですが、「中央会とは」という部分があまり理解出来ていませんでした。その為、社内の人などに中央会について聞かれても説明することも出来ませんでした。今回のオリエンテーションにより、中央会はこんな活動をしている会なんだと説明が出来ます。

まだまだ中央会の活動で解らないことは多々あるとは思いますが、今回の新入会員オリエンテーションで学んだことを今後の基礎として、今後の中央会活動から多くのことを学び取れるよう積極的に取り組んでいこうと思います。

山内 英樹

オリエンテーションを終えて、改めて中央会の奥深さを痛感しました。私が幼少の35年前から培われてきた歴史を認識できた事は、私のこれからの活動に勇気と励みを与えてくれると思います。

先輩方の歩まれた道を踏み外す事なく、しっかり歩いて行く事が会員となった私のすべき事だと理解できました。

今回のオリエンテーションを通じて、若手経済人として常に自己研鑽に励み、また会の一員として恥ずかしくない行動を心掛けねばならないと身を引き締めています。

オリエンテーションで学んだ事を大切にして、少しでも会のお役に立てる様、頑張りたいと思いますので、これからも御指導をよろしくお願い致します。

石原 効

入会から約2カ月の間、会員手帳を読むことを心がけていましたが正直なかなか読んで理解し、覚えることが出来ずにいました。

今回の新入会員オリエンテーションで先輩会員の皆様から組織構成、会則、規約、トライアスロン皆生大会や広報誌の送付先、ホームページの早期取組等のご説明を頂き、中央会の偉大さを改めて感じ、「網領は中央会の中心的な考え」と説明を受けた時は、身の引き締まる思いがし、もっと多くの事を学びたいと強く思いました。

この度は、ご多忙の中私達新入会員の為に、貴重なお話しを頂戴し有難うございました。もっと多くの事を学び社会に奉仕出来、中央会の発展に努力して行きたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

## いよいよトライアスロン間近!

平成22年6月16日(水)、マラソン部によるトライアスロンのポスター貼りが行われた。平日の朝9時にも関わらず、20数名の会員が皆生観光センターに集まった。冒頭、マラソン部の桑本部長より挨拶があり、『毎年のことではありますが、きちんと挨拶を行い、ありがとうございます。のお礼を忘れないように』と話された。その後、4つの班に分かれ、あらかじめ予定された添付場所のリストと地図をもらい作業を開始した。作業は12時前にほぼ全ての班も終了した。前日の6月例会の打ち上げで“死のソース”を召された会員にとっては、ほど良い運動になったようだ。(記事:宮崎)



鯉に恋して42年・内田養魚場の  
「なるほど・ザ・錦鯉」

内田 隆嗣 (中央会会員)

錦鯉は着物等と同様にザ・日本文化ではあるのだが、歴史となると意外と浅い。

新潟県の山古志郷で近親交配の中から突然異変として緋鯉が生まれ、慶事の供え物として珍重されていた。江戸時代の末期、文政の頃(1818～1829年)白色化した水浅黄と緋鯉の中から白い肌には紅い鱗の並ぶ「鹿の子」が出現し、これらをもとに明治に入ってから背に赤斑の浮かぶ更紗と呼ばれる紅

白種の祖先を産むこととなるが天保年間(1830～1843年)には頭半分が紅い「頭巾かぶり」とか口の周りだけが紅い「口紅」が出現している。

明治7～8年(1874～1875年)紅白種の素地らしい薄紅の型取りをしたものが現れ、地域に分散した。明治も半ばの22年(1899年)古志郡東山村が蘭木(現小千谷市)広井国蔵氏により紅白が固定され、その系統が分布し地域一帯で改良が重ねられ現在の紅白が完成した。これが、日本におけるいわゆる錦鯉の最初の魚種である。

つまり、時代劇の定番であるお殿様が庭の池で手をたたき、寄ってきた錦鯉に餌をやるというワンシーンには、嘘が潜んでいるのである。

# ショーバイ・商売

～自分の人生を仕事に懸けてみよう！～

中島太郎OB（海潮園・皆生ホテル 代表取締役）

どうすれば集客を増やすことができるのか

今回は、海潮園、皆生ホテル代表取締役中島太郎OBを訪ね、ロシアからの集客についてお話を伺いました。

現在、ロシアのウラジオストクからの集客を1つの目標としています。マーケット的に言えば、中国に向かうべきところですが、中国の方や韓国の方を受け入れる施設は多くあります。人と同じ事をするのが嫌であり、皆生の旅館やホテルの中でロシアの方を受け入れる施設はおそらく他にない、どんな分野でも特異点でありたいという気持ちからロシアの市場を目標としました。

ウラジオストクは、人口100万人ほどで、岡山市と変わらない規模の市場しかない。しかし、中国や韓国の方などの弾丸ツアーのようなものではなく、市場が小さくともヨーロッパ的な習慣から、数日間宿泊してバカンスを楽しむ習慣があるので、そのために宿泊して頂くための施設というのが目標となっています。旅館もホテルもそのようなお客様を受け入れていき、他の旅館やホテルとの違いを作らなければ生き残ることが出来ないと思います。

また、ロシアからの集客を目指すにあたって、海や山といったどこにでもあるものではなく、外国の方にも分かりやすい「日本初」「日本一」ということを発信していく必要があると思います。鳥取、島根という県境を越えて、この地の歴史や文化など、不変的な財産をもっとブラッシュアップして、情報を発信していくことが是非必要だと思います。（記事：松田（順））



# 中央会をふりかえって…

水 康徳 会員

私が最初にハンサムの記事を書いたのは、平成8年度総務委員会で行った北海道視察研修旅行の報告でした。名目は観光先進地の視察ということでした。多くの諸先輩方と一緒にこの事で細心の注意を払いながら記事を書きました。記事も中央会の旅行も初めてだったのでいろいろ(?)勉強させて頂きました。それから十数年が過ぎ、今最後の原稿に向かい、青年中央会でのことを振り返ろうとする懐かしい顔が次々と浮かんできます。この会を通じて多くの方々と出会い、多くのことを教えて頂きました。私にとって中央会は学びの場であり、出会いの場でした。これまでにお会いしたすべての方々に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



写真は古き良き時代(?)の委員会旅行の1枚です。ちなみに私が中央会の旅行で学んだ事は「沈黙は金、米子で多くを語らず。」でした。

写真は古き良き時代(?)の委員会旅行の1枚です。ちなみに私が中央会の旅行で学んだ事は「沈黙は金、米子で多くを語らず。」でした。

# ススメアスイ!



北口会長年度がスタートしました。期の初めが初々しく、夢にあふれる瞬間であると思います。中央会の良さが単年度の交代にもあります。この一年をいかに夢を持ってのその目標に突き進むかにあります。実現できるか、そうでないか、考える必要はありません。夢を持たないと実現はしません。「やらいや!」とチームを挙げて挑むチャンスです。こんな楽しい事、他では出来ないと思います。

このような機会をいただいた小川委員長をはじめ第35期広報委員会の皆様にはお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(会長 増井幸一)

## 6月度委員会報告

### 地域ビジョン委員会

平成22年6月5日(土) 於:大山町山本宅 出席者/15名  
議題/・1年間のまとめについて

### 政治行政委員会

平成22年6月8日(火) 於:レストランぶどうの木 出席者/13名  
議題/・1年間のまとめについて

### ビジネス委員会

平成22年6月9日(水) 於:焼き肉うえば 出席者/14名  
議題/・1年間のまとめについて

### 自然文化発掘委員会

平成22年6月8日(火) 於:米子食品会館 出席者/11名  
議題/・1年間のまとめについて

### 広報委員会

平成22年6月8日(火) 於:米子コンベンションセンター 出席者/16名  
議題/・ハンサムについて ・ホームページについて  
・6月担当例会について ・中央会TV番組について  
・35周年記念誌について ・会員名簿について  
・委員会報告/卒会寄稿文集について

### 総務委員会

平成22年6月7日(月) 於:かば米子店 出席者/18名  
議題/・新入会員オリエンテーションについて  
・22年度総会・卒会式・懇親会について  
・会員拡大のまとめについて

## 編集後記

皆様のご協力により無事一年間ハンサムを発行することが出来ました。

今期ハンサムの制作テーマは“こころまち”でした。

“ハンサムの到着を心待ちにしていきたい”という願いを込めて、記事・特集・取材等、広報委員会で知恵を出し合い、楽しく・興味深く読んでいただくことを念頭に企画しました。

例会等、中央会の事業報告記事だけではなく、情報発信やショーバイに繋がるヒント、会長の一言など紙面の偏りのない構成で制作いたしました。

至らない点が多々あったとは思いますが、ご愛読いただきありがとうございました。

最後に、ハンサム原稿依頼に快く対応いただいたOB会員・現役会員の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

(記事:第35期広報委員会委員長 小川敦弘)

## 7月役員会報告

7月役員会が平成22年7月1日(木)、米子全日空ホテルにて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・6月例会報告の件
- ・7月総会・卒会式・懇親会開催の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

## 平成22年度総会・卒会式、懇親会のご案内

と き:平成22年7月15日(木) 18:00~ (受付17:30)  
と ころ:ホテルサンルート米子  
内 容:平成22年度総会・卒会式・懇親会  
担 当:新旧総務委員会